



【取組内容】

- 市内全ての公立小・中・特別支援学校が、**SDGsの達成に向けてESD（持続可能な教育）を推進**しており、一斉にユネスコスクールに加盟。**「大牟田市版SDGs」を作成**し、市内全ての教職員や市職員、市民に配布。
- 各学校で、**SDGsの重点化**を図り、**子どもたちが自ら地域の課題を見出し、自分で考えて行動する学びを展開**。SDGsについて考える授業の実施。
- 各学校のSDGsの重点を地図に表した**「SDGsおおむたマップ」を作成**。地域との協働活動を展開。
- 毎年1月に、SDGsの達成に向けたESDに関する児童生徒の学習交流の場を、8月に教職員を対象にした実践交流の場を設けている。

SDGs実施指針における実施原則（本アワード評価基準）

普遍性：	「大牟田版SDGs」でゴールとターゲットを重点化し、持続可能な社会の創り手としての「子ども像」を明確化。どの地域でも応用できる仕組み。
包摂性：	大牟田版SDGsで「誰も置き去りにしない」持続可能な大牟田のまちづくりに向けたビジョンを示している。
参画型：	全ての市立学校においてSDGs/ESDの視点から福祉教育を推進。市民講座，研修会，出前講座等の取組を実施。
統合性：	「大牟田版SDGs」の重点目標から、各学校のSDGsの達成に向けたESDの授業と市役所の各部局が様々な関連事業を展開。
透明性と説明責任：	取組の実践発表、地区公民館の市民講座、研修会の実施、HPや資料での公表等。

